



2020年度 「牧羊者」夏期学校教案



テーマ 「だだっ子 ヨナ」 (2001年度のリソース活用です。)



聖句 「救^{すくい}は主にある。」 (ヨナ2・9)

- 第1課「逃げ出したヨナ」 (1章)
- 第2課「悔い改めたヨナ」 (2章)
- 第3課「愛を知ったヨナ」 (3、4章)



今年の夏期学校教案は2001年度分のリソースを活用させていただきました。新型コロナの影響で2020年の夏にはキャンプを行えない教区、教会もあるかもしれませんが、年度にこだわらず活用していただければと願っています(過去の夏期教案の一覧を教会教育室のホームページに掲載させていただきましたので、参考になさってください)。

いくつかのことを記しておきます。

一、ワークの区分について

近年の牧羊者では、小学生向けのワークはB(主に1～3年)とC(主に4～6年)の二つに分けていますが、2001年当時は三つ(下級、中級、上級)に分けておりましたので、この夏期教案もそのような分け方になっております。それぞれの対象に応じて、適当なものを選んで使ってください。

二、カリキュラムについて

この項目には、2001年の夏期教案に鎌野善三師が書いてくださった説明文の抜粋を記させていただきます。

今回は、「悔い改め」を中心にしています。夏期学校は子どもたちとゆっくり話ができる最善の機会です。子どもたちの心の中にある罪が示され、それを正直に悔い改めるように導いてください。

第1課は、み言葉に従わないことこそが罪であるここを明確にしてください。第2課の学びのあとでは、ぜひ子どもたち一人一人と向き合う時をもってください。そして、正直に神様に告白することを勧めてください。口で言えない場合は紙に書かせてもよいでしょう。第3課では、悔い改めた罪は完全に赦されるという確信をもたせましょう。だだっ子のようなヨナも、このことを通して、神様の絶対的な愛を知ったことを、子どもたちの心に焼き付けてください。

沢村五郎先生の名著『聖書人物伝』に「神のだだっ子ヨナ」の章があります。ぜひ一度、目を通してください。

三、ワード形式での提供について

かねてよりワークをワード形式で提供してほしいとの声がありましたので、今回はそちらも用意させていただきました。各訳への対応など、必要に応じて適当に編集して用いてください。

四、終わりに

執筆者は、メッセージ例…高田浩二師(2003年召天)、ワーク下級…藤井正子師、中級…鎌野幸師、上級…和田治師です。それぞれの先生(高田師はご夫人の紅實師)が、リソース活用を快く許可してくださいましたことを心より感謝いたします。

第一課 逃げ出したヨナ（一章）

暗唱聖句 わたしは…あなたの前に悪い事を行な

いました。 詩篇 51・4

日 標 神の言葉に従わない事は罪であること

を発見する。

導入

皆さんの中に、一回でも病院に入院した人がいますか。看護婦さんは、病気の人が元気になるために、お医者さんの指示通りに色々世話をしてくださいます。けれど、もし看護婦さんがお医者さんの指示に従わずに、自分勝手なことをしたり、反対に何もしてくれなかったら、その病人はどうなってしまうでしょうか。病人が良くなるためには、看護婦さんがお医者さんの指示に従ってお仕事をしてくれることが必要だとわかりますね。このお医者さんとは神様のこと、看護婦さんとは今年の夏期学校で学ぶ預言者ヨナのことです。

一、神様の命令

紀元前七六〇年ごろのニネベという町は大変でした。「彼らの悪がわたしの前に上ってきたからである」（1・2）と神様が言われたほど、もうどうしようもなく悪が満ちていたのです。どんな悪だったでしょうか。①偶像礼拝と、②流血の暴力と、③汚らわしい不道徳（ナホム1・14、ヨナ3・1、4参照）などでした。

神様は、こういう罪悪を「主に対する悪事」だと言っておられます（ナホム1・11）。お父さんやお母

さんの言いつけに背いたら叱られるのが当然のように、こんなニネベの町に向かって神様がお怒りにならないはずがありません。そこで神様は、アミッタの子ヨナという人に、「立つて、あの大きな町ニネベに行き、これに向かって呼ばわれ」と命令されました。「この町は神様によって裁かれるぞ」という意味です（3・4、10）。神様は、どんなに大きな町であっても、どんなに有力で影響力があっても、罪があるなら、必ず裁かれます。もし罪を離れないなら、その罪人を町ぐるみで裁かれるのです。

二、命令にそむいたヨナ

ところがヨナは、「主の前を離れて：タルシシへ行く」と船に乗りました。これは、ヨナが神様の命令に従うのがいやで、逃げだしてしまったことを表しています。

ヨナは、あとで「わたしはへブルびとです。わたしは海と陸とをお造りになった天の神、主を恐れる者です」と告白するほど、神様を堅く信じていました。またお仕えもしていました。でもどうしたのでしょうか。神様のご命令に従わないばかりか、反対方向へ逃げてしまったのです。

「ヨナ」とは「はと」という意味ですが、彼は臆病で、いざという時になって弱気になったのでしょうか。あるいは、ニネベの人々は悪い人たちだから、神様に裁かれても当たり前だと考えていたのでしょうか。または、ニネベまで行くのは面倒くさいと思ったり、自分には関係ないと思つたのでしょうか。色々なことが考えられますね。

三、そむきの結果

このようなヨナの態度を見られた神様は、非常にお怒りになりました。神様の言葉に従わないことこそが罪の本質だからです。そして、大変なことがおこりました。「時に、主は大風を海の上に起されたので、船が破れるほどの激しい暴風が海の上にあつた」のです。

この出来事は、ヨナの不従順と自分勝手な行為に対して、神様がどんなに激しく怒られたかを良く物語っています。ヨナの罪は大きくて、その悪い影響は、船に乗った他の人たちにまで及んでしまいました。船員さんもお客さんも、命からがらの大騒ぎです。神様の言葉にそむくなら、その結果、自分が苦しむだけでなく、周囲の人々も苦しむことになってしまいます。

結論

今、私たちは、神様の声を聖書の中から聞くことができます。毎週教会学校で聞く聖書の言葉にちゃんと従っていますか。例えば、「父と母とを敬え」という言葉に従っていますか。あるいは友だちをいじめている子に、「意地悪しちやダメだよ」と注意できますか。難しいですね。

自分勝手な理屈をつけて知らぬ顔をしたり、あるいは、「そんなの嫌だ」と思うのは、神様に対する大きな罪です。神様は、かならず罪を裁かれます。もし罪があるなら、今日の暗唱聖句のように、「わたしは：あなたの前に悪い事を行ないました」と正直に告白しましょう。夏期学校は、それをするにふさわしい機会です。

第二課 悔い改めたヨナ（第二章）

暗唱聖句 わたしは雪よりも白くなるでしょう。

詩篇 51・7

日 標 罪を悔い改めるなら、神はそれを赦し

てくださることを発見する。

導入

皆さんは「裁判所」を知っていますね。交通事故や泥棒や、その他もともと複雑で難しい事件を裁くところです。どんな事件でも、人は自分の悪かったことを素直に認めようとしないので、裁判所で、正しく裁かねばなりません。悪いことをしたとしても、それを正直に認め、「ごめんなさい」と言うなら、もともと住みやすい世の中になるのではないでしょうか。

一、罪の告白

大嵐になった海で、船員たちは船が沈没してしまわないように必死になっていました。そして、だがこの災難の原因になっているのかくじで決めようということになったのですが、そのくじはヨナに当たってしまいました。どんなにがんばってみても、ヨナは神様の手の中から逃げ出すことはできず、その罪は暴露されたのです。ヨナは観念して、「わたしを取って海に投げ入れなさい。わたしのせいです」と正直に告白します。彼は、自分は罪を犯したので、おぼれて死んでしまってもよいと考えたのでしょう。ヨナが海に投げ込まれると、海の荒れるのがやんでしまいました。

私たちにも、何か隠している罪はないでしょうか。

でもどんなに隠しても、神様はご存じです。必ずいつかはばれてしまいます。ですから、隠すのはやめましょう。悪かったことをありのままに神様に告白しましょう。そのとき、神様は不思議なことをなさいます。

二、悔い改め

海に投げ込まれたヨナは、不思議なことに、ちょうどそこに現れた大きな魚に飲み込まれてしまいました。その魚は、神様が備えてくださったものでした。神様は、罪を犯したヨナさえも憐れんで、その命を救ってくださったのです。このことに気づいたヨナは、魚の腹の中から「その神、主に祈って」言いました。

「わたしは悩みのうちから主に呼ばわると、

主はわたしに答えられた。

わたしが陰府よみの腹の中から叫ぶと、

あなたはわたしの声を聞かれた。」

ヨナはこの災難の原因は自分にあることを認めましたから、黙って海に投げ入れられました。一度は神様の声に従わないで逃げ出したのですが、その罪を悔い改めて、「主に呼ばわり：叫ぶ」ことを始めたのです。「神様、わたしを助けてください」と叫び、祈ったのです。

私たちにも、この悔い改めが必要です。神様が罪を犯した者をすぐに裁いて滅ぼされないのは、その人が悔い改めるのを待っておられるからにほかなりません。この夏期学校の期間中に、自分の罪を認めて悔い改めましょう。

三、悔い改めの結果

神様を全面的に頼り、助けを求めたヨナは、たとい

まだ魚の腹の中にいても、

「わたしは感謝の声をもって、

あなたに犠牲をささげ、

わたしの誓いはたす。

救すくいは主にある」

と祈ることができました。そして、神様はその祈りに答えて下さいました。神様が魚に命じられると、不思議なことに魚はヨナを陸に吐き出したのです。

どんな大きな罪を犯していても、本心からそれを悔い改めるなら、神様はそれを赦してくださいます。そして、罪の結果の苦しみから救ってくださるのです。昔した悪いことを思い出して、苦しくなることはありませんか。今日、それを悔い改めましょう。その時、あなたの心は雪よりも白くなり、大きな喜びが生まれてきます。

結論

今でも、真の神様は、罪を悔い改めるなら、どんな人でも例外なく赦してくださいます。そしてその人の心に、本当の喜びと平和をくださるのです。それは、イエス様が私たちの罪のために、魚の腹ではなく、陰府に下ってくださって、私たちの受けるべき罪をすべて身代わりに受けてくださったからです。罪を認めて悔い改めた人々は、大人でも子どもでも、同じように神の国に生きることが出来ます。真つ黒だった心が、イエス様の血によって、雪のようにまっ白くなるのです。嬉しいですね。「救は主にある」という言葉は、昔も今も、本当です。

第三課 愛を知ったヨナ (第三、四章)

暗唱聖句

神の受けられるいけにえは砕けた魂です。
詩篇 51・17

日 標

神は、悔い改めた人々を決して滅ぼさないことを発見する。

導入

私たちには、「執念深さ」というとても嫌な性質がありますね。喧嘩をした友だちと一度は仲直りしても、本当はなかなか赦せないとか、いつまでも覚えていて悔しい気持ちになるとか、また喧嘩をするとか。この嫌な性質をスツキリしたいと思いませんか。実はこれを解決するのが、本当の愛なのです。ヨナはこの愛を経験しました。

一、二度目の命令

罪を悔い改めたヨナに、神様はもう一度命令を与えられます。「時に主の言葉は再びヨナに臨んで言った」と書かれていますね。一度罪を犯してしまったヨナですが、神様は彼を完全に赦して回復を与えられたのです。そして、「立つて、あの大きな町ニネベに行き、あなたに命じる言葉をこれに伝えよ」と命じられました。

ヨナは今度はお言葉に従います。ニネベは、一回りするのに三日かかるほど大きな町でした。その町のあちこちで、ヨナは「四十日を経たらニネベは滅びる」と叫んだのです。町の人々から変人扱いされることは覚悟の上でした。きっと、彼の声は枯れてしまうほど

だったでしょう。

二、愛のみこころ

ヨナの真剣な叫びを聞いたニネベでは、「人々は神を信じ、断食をふれ、大きい者から小さい者まで荒布を着た」と書かれています。王様さえも罪を悔い改め、罪の生活を離れて「ひたすら神に（赦して下さるように）呼ばわ」ったのです。その結果、「神は彼らのなすところ、その悪い道を離れたのを見られ、彼らの上に下そうと言われた災^{わざわい}を思いかえして、これを滅ばすこと」をおやめにしました。

ところがヨナはこれを非常に不快に思い、主に祈ります。「それでこそわたしは、急いでタルシシにのがれようとしたのです。…あなたが災を思いかえされることを、知っていたからです。それで主よ、どうぞ今わたしの命をとってください。わたしにとつては、生きるよりも死ぬ方がましだからです」と、訳^{わけ}の分からないうことを言って、ゴネていました。まさに「だっ子ヨナ」そのものです。彼は、自分がおぼれて死にそうになったときに祈ったことも、滅ばされて当然の自分が神様の憐れみによって救われたことも、忘れていました。神様の愛のみこころが理解できなかったのです。

三、ヨナへの実物教育

それでもヨナは町の近くに小屋を建て、なりゆきを見きわめようとしていました。神様は、このだっ子ヨナを、実物で教育されたのです。ある日の朝、芽を出した「とうごま」という植物が、ちょうど良い日陰を作つてヨナを喜ばせました。ところが次の日の朝に

は、そのとうごまがすっかり枯れてしまっています。神様が虫を用いて、そうされたのです。太陽が照り始めた時、ヨナは暑さのために苦しみ、怒つて言いました。「生きるよりも死ぬ方がわたしにはましだ」と。

口ぐせのように「死んだ方がましだ」と言い出すヨナに対して、神様は「あなたは勞せず、育てず、一夜に生じて、一夜に滅びたこのとうごまをさえ、惜しんでいる。ましてわたしは十二万あまりの、左右をわきまえない人々と、あまたの家畜とがいるこの大きな町ニネベを、惜しまないでいられようか」と静かに諭されました。これこそが神様の本当のお心なのです。

結論

神様は、ヨナでもニネベの人々でも、自分の罪を認めて悔い改めるなら、喜んで赦してください。ヨナは「執念深い」人でしたが、神様は決してそうではありません。神様がこのような愛をもっておられることを、ヨナは、この後にわかったことでしょう。そして自分もニネベの人々が救われたことを喜ぶようになったでしょう。

暗唱聖句にある「砕けた魂」とはどういう意味でしょうか。それは、「自分は正しい人間だ。あいつは悪い人間だ」と考えるのではなく、「自分はすぐ偉そうになつてしまふ。人のことを悪く言つてしまふ」と謙遜に考えることです。神様は、そんな自分の姿に気づいて、「ごめんなさい」と正直に悔い改める人を喜んで受け入れてくださいます。この夏期学校で、そのことが実際に体験できたでしょうか。

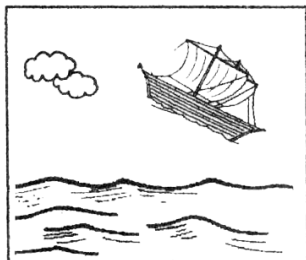
下級 第1課 にげだしたヨナ (ヨナ1章)

おぼえましょう！ (詩篇 51・4)

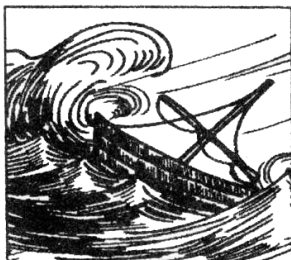
「わたしは…あなたの前に悪いことを行いました。」

1. ヨナさんの のったふねは、どうなりましたか？

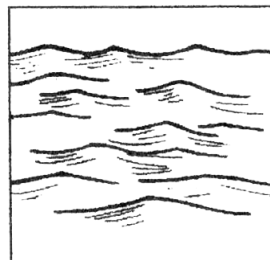
() 空をとんだ



() 嵐にあった



() しずんだ



2. それは、どうしてですか？ 正しい方と線でむすびましょう。



ヨナが
かみさまのことばに



したがったから

したがわなかったから

3. みなさんは、どうでしょう。あてはまる♡にいろをつけてね。

	はい、よろこんで	しかたないなあ	わからないよ	イヤ！
おともだちと なかよくする	♡	♡	♡	♡
いじめっこにも かみさま のことをつたえる	♡	♡	♡	♡
おとうさん、おかあさんの いうことをきく	♡	♡	♡	♡
にちようびは きょうかいへいく	♡	♡	♡	♡



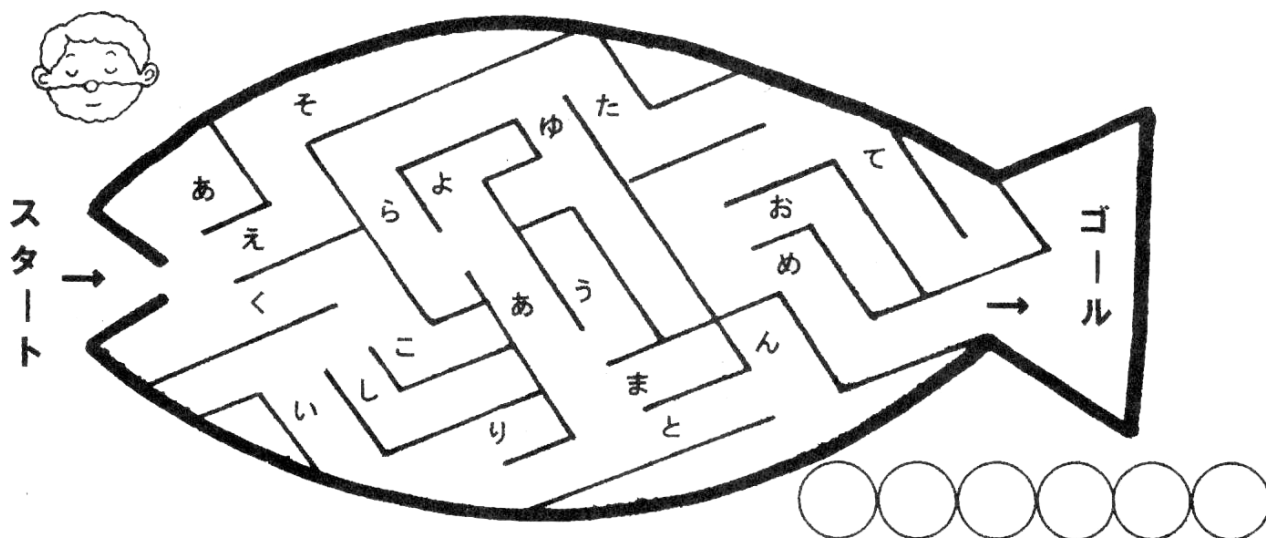
いのりましょう！ 「かみさま、いつも かみさまの
ことばに、したがうこどもにしてください。
イエスさまのおなまえによって、いのります。」

下級 第2課 くいあらためたヨナ (ヨナ2章)

おぼえましょう！ (詩篇 5 1・7)

「わたしは雪よりも白くなるでしょう。」

1. ヨナさんは、魚のおなかの中で何をしたのでしょうか？
めいろをたどって、じゅんばんに ○ にもじをいれましょう。

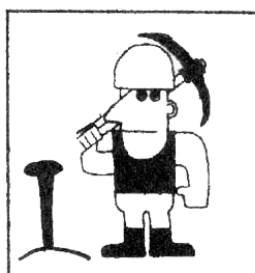


2. それは どうすることですか？ ただしいものをえらんでね。

① もういちど
たべなおすこと。



② くい (ふといくぎ) を
うちなおすこと



③ かみさまにおわびして
こころをかえること



3. みなさんは、わるいと気がついたとき どうしますか？

- () わるいことをしたら、すぐにげるよ。みつからなければへいきさ。
() わるいことだとわかったら、すぐに あやまるよ。
() おなじまちがいを くりかえさないように、おいのりするよ。
() みんなも してることだから、あやまらない！

いのりましょう！ 「かみさま、わるいと気がついたときは、すぐにあやまる
ことができるようにしてください。きたない心 を、雪のように白くしてくだ
さることをかんしゃします。イエスさまの おなまえによって いのります。」



下級 第3課 愛をしたヨナ (ヨナ3、4章)

おぼえましょう！ (詩篇 51・17)

「神の うけられるいけにえは 砕けた 魂 です。」

1. ヨナさんはどうして、かみさまにふんぷんおこっているのでしょうか？
ただしいものと せんで むすんでね。

さかなのおなかにとじこめるなんてひどいよ

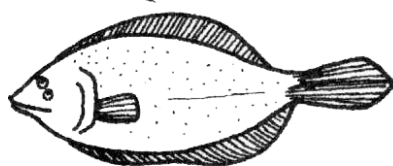
あらしで、ふねがゆれて目がまわったよ

ニネベをほろぼすのをやめるなんて、さいしょにいったこととちがうじゃないですか



2. かみさまは、どんなおかたですか？ ただしいことをいっている 魚 をつかまえてね。

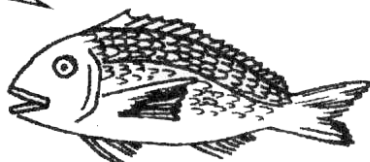
めぐみふかいかたよ



すぐにおこるんだ



きびしいんだよ



やさしいのよ



わるいことをしたら、
かならずばつをくださんだ



わるいことをしても、あや
まれば ゆるしてくれるよ



愛にあふれてるのよ



3. かみさまが よろこばれるのは、どんな人ですか？

- () わるいとわかって、あやまらないで、わらってごまかす人
() わるいとわかったら、すぐにあやまる すなおなこころの人
() 「まちがってるよ」といわれると、あれこれ いいわけする人



いのりましょう！ 「かみさま、わたしたちをあいして、ひとりもほろびない
ように、くいあらためるのを まってくださることをかんしゃします。
イエスさまの おなまえによって いのります。」

ちゅうきゅう だい 1 か に だ
中級 第1課 逃げ出したヨナ



1. おはなしを思い出そう！ () の中から正しい
ものをえらび、 [] の中にことばを入れてね。

① ヨナのおしごとは (だいく りょうし よげんしゃ ひつじかい) でした。

② かみさまはヨナに「大きな [] に行ってわたしのことばを伝え
なさい」といいました。

③ ヨナはかみさまの前から [] て [] に行かずに
[] に行きました。

④ かみさまは ヨナを見て [] をおこされ、
ふねが [] になりました。

⑤ ヨナはうみになげこまれ [] にのみこまれました。

2. ヨナはどうしてかみさまのまえからにげだしたのでしょうか？

3. きょうのみことばを書きましょう。

☆あなた とは かみさま のことです。かみさまのまえにわるいことを つみ といいま
す。かみさまは つみ がとてもきらいです。つみをおかすのにげだしたくなるのです。

4. しかくの中から つみ をえらんで ○ でかこもう！

せいしょをよむ だれも見えていないところでまんびきする うそをつく
おかあさんのいうことをきかない おてつだいする ともだちをにくむ
きょうかいに行く いじわるをする かみさまをしんじない

5. ヨナはかみさまのことばをきかずににげるという つみ をおかしました。
みんなは つみ をおかしたことはないかな？ かんがえてみよう。



ちゅうきゅう だい 2 かい かいあらた 中級 第2課 悔い改めたヨナ



1. おはなしを思い出そう！

下のしかくの中からことばをえらんでね。

- ① うみになげこまれた は、おぼれて になりました。
- ② かみさまがたすけてくれたので、ヨナはしなずに にのみこまれました。
- ③ ヨナはかみさまのあいを て、「これから のことば
どおりにします。ごめんなさい。」と のおいのりをしました。
- ④ かみさまはヨナの をきいて をゆるしてくれました。

つみ	さかな	ヨナ	おいのり	しにそう
くいあらため		しんじ	かみさま	

2. みんなの心の中の つみ はどうしたらゆるしてもらえるかな？ 2つえらんでね。

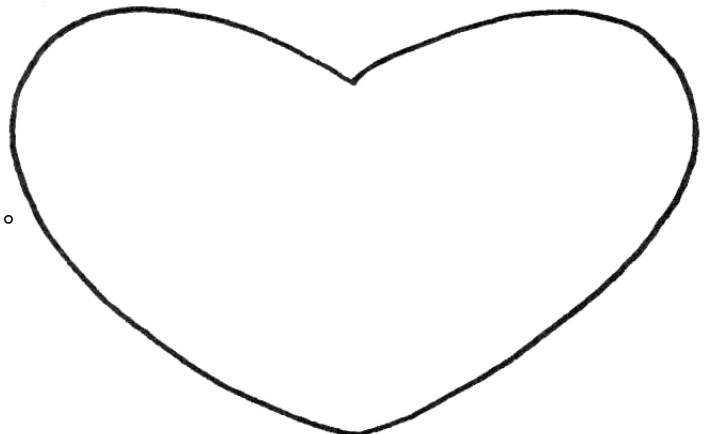
べんきょうをがんばる くいあらためのおいのりをする
 たくさんけんきんする いっしょうけんめいよいことをする
 わたしたちのつみのためにしんでくださったイエスさまをしんじる

3. きょうのみことばを書きましょう。

☆イエスさまをしんじて、つみをくいあらためるなら、どんなにたくさんのつみがあっても、わたしたちの心は真っ白な心にしてもらえるのです。

4. くいあらためのおいのりをしよう！

ハートの中にみんなの心の中の
つみをぜーんぶ書いて、
先生といっしょにおいのりをしよう。



* * * つみをとりのぞいてわたしの心をゆきよりも白くしてください * * *

ちゅうきゅう だい 3 か あい し
中級 第3課 愛を知ったヨナ



1. おはなしを思い出そう！

- ① ヨナはつみぶかい の人たちが助けられたのを見て ました。
- ② かみさまは あつてくるしいヨナに の木をくださいました。
- ③ ヨナにとって大切な木は かれてしまい、ヨナはとても ました。
- ④ かみさまは ニネベの人たちを ているから、ほろぼさずに られたことをおしえてくださいました。
- ⑤ ヨナは、かみさまが のことも のことも
おなじようにあいしておられることがわかりました。

とうごま ヨナ おこり あいし ニネベの人 かなしみ たすけ ニネベ

2. きょうのみことばを書きましょう。

☆かみさまは大きくてりっぱな心ではなく、小さくてこなごなにくだかれた心を
よろこんでくださるのです。

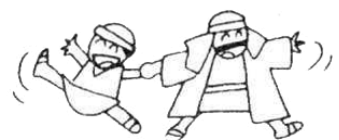
3. くだけたたましい とはどんな心でしょうか？ 4つえらんでね。

- ・ ぼくはえらいんだという心
- ・ わたしのつみをゆるしてくださいという心
- ・ かみさまのあいをありがとうという心
- ・ わるいやつはゆるさないという心
- ・ よわいわたしをたすけてくださいという心
- ・ あのおともだちもゆるしてあいしますという心

4. ヨナの心は くだけたたましい でしたか？
みんなの心にもヨナとおなじ心がないかな？

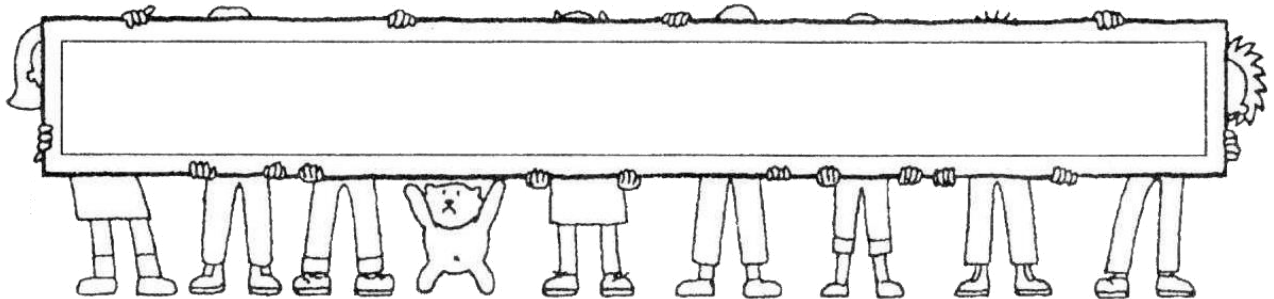


5. かみさまはヨナもニネベのひとも、みんなも、みんなのおともだちも、
みんなをあいしておられます。「きれいなおともだちも、ゆるしてあいする心を
ください」とおいのりしましょう。



上級 第1課 逃げ出したヨナ (ヨナ1章)

☆ 暗唱聖句(詩篇51・4)をこのわくの中に書き写して暗唱しましょう！



- ① あなたは今までに、学校の先生や家族など、だれかから、何かをしなさい、と言われて、いやだなあと思って、言われた通りにしなかったことがあるでしょうか。その時のようすを思い出して書いてください。

- ② 主から「ニネベに行け」と言われたとき、ヨナはどうしましたか。3節の中に二回くりかえされている言葉を使って答えてください。

タルシシに向かって逃げようとした。

- ③ そこで主は、どんなことをなさいましたか。

- ④ ヨナは、このはげしい嵐がおこったのはだれのせいかわかっていましたか。→12節を読んでみよう。

*はい、「 」のせいだとわかっていました。 *いいえ、だれのせいかわかっていませんでした。

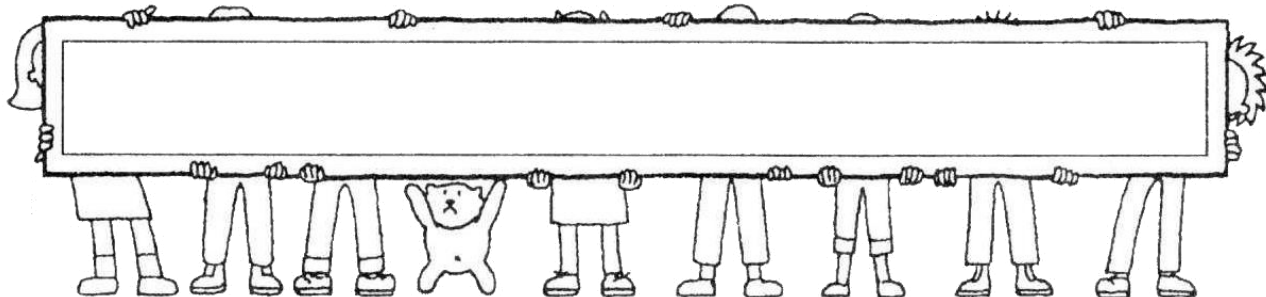
- ⑤ 主は、どんな気持ちではげしい嵐をおこされたのでしょうか。考えてみてください…。

- ⑥ 暗唱聖句をもう一度見てください。…では、ヨナがした「悪いこと」は何だったのですか。

- ⑦ あなたは、主の言葉に従わなかったことがありますか。あるいは、今、「自分にとっていやなことなら、主の言葉に従いたくない」という気持ちがありますか。もしそうなら、あなたはどうすべきでしょうか。

上級 第2課 ^く ^{あらた} 悔い改めたヨナ (ヨナ2章)

☆ 暗唱聖句(詩篇51・7)をこのわくの中に書き写して暗唱しましょう！



- ① あなたは今までに、ペンキやマジックなど、洗っても洗ってもなかなかきれいにしない汚れを見たり、それを洗ってみたりしたことがあるでしょうか。その時のようすを思い出して書いてください。

★今のメッセージで、罪のことが語られました。それは、どんな洗剤でも洗えない心の汚れ、たましいの暗闇です。どうしたら心が雪よりも白くされるかわかりましたか。ワークでさらに深く学びましょう。

- ② さあ、魚のおなかの中のヨナのように、主をのぞいてみましょう。1節と2節を読んでみてください…。ヨナは魚のおなかの中から主に叫びましたね。あなたがヨナなら、どんな言葉で叫ぶでしょうか。ヨナの気持ちをよく考えて答えてください。

★ヒント！ ヨナは、どうしてこんなことになったのか、だれが悪いのか、良くわかっていましたよね。

- ③ 主は、ヨナの祈り、叫びに、答えてくださいましたか。 *はい *いいえ
- ④ もしヨナが②のように叫んだのなら、主がヨナに答えてくださったのは、ヨナがただ助けを求めたからではなくて、どうしてなのでしょう。

-
- ⑤ 暗唱聖句をもう一度見てください(これはヨナの言葉ではありません)。…では、ヨナも、主によって赦され、心を洗ってもらい、雪よりも白くなったのでしょうか。

*はい *いいえ *どちらかはわかりません

★ヒント ヨナ2・9の聖句、特に、このキャンプ全体の中心聖句を良く味わって答えましょう。

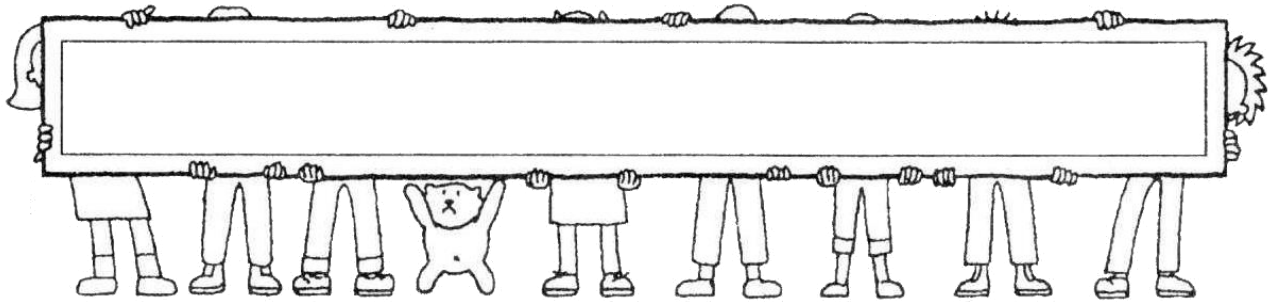
- ⑥ あなたは、ヨナのように「ごめんなさい」と主におわびして、自分の罪を主に悔い改めたことがありますか。あなたの心は「雪よりも白く」されましたか。

→【A】もしそうなら、心から主に感謝しましょう。そして、主があなたを雪よりも白くするために、何をしてくださったかもう一度思い出して、それを下の線のところに書いてみましょう。

→【B】もしそうでないなら、あなたはどうすべきでしょうか。

上級 第3課 愛を知ったヨナ (ヨナ3、4章)

☆ 暗唱聖句(詩篇51・17)をこのわくの中に書き写して暗唱しましょう！



① まず、ヨナ3・4を読み、次に1・2を読んでください。主がニネベの町を滅ぼそうとされたのはなぜですか。

② ニネベの人々は、ヨナの言葉を聞いて、どんなことをしましたか。

③ 主は、ニネベの人々のようすを見て、どうなさいましたか。

④ 暗唱聖句をもう一度見てください。…では、悔い改めたニネベの人々のたましいは、主なる神様の目から見ればどうだったのでしょうか。それなら、あなたのたましいは彼らのと似ていますか、ちがいますか。

私のたましいは彼らのと *似ている *ちがう

⑤ 主がニネベの人々に災いをくだすのをおやめになったのは、主がどのようなお方だからでしょうか。ヨナ4・2のヨナのことばを読んで、答えてください。

⑥ 「とうごま」が枯れたとき、ヨナはどうしましたか。 _____

⑦ 4・10、11を読んでください。…ニネベの町とそこに住む人々を「惜しまないでいられようか」とおっしゃる主によって、ヨナはどんなことを知らされたと思いますか。

主は、どんなに悪い人々でも、_____ 改めたなら、^{ゆる}赦してくださり、ほろぼされない。

それは主が本物の _____ で人々を _____ しておられるからだ。

⑧ ニネベの人々を惜しむ主の愛は、あなたにも注がれていますか。もしそうなら、それは何によって分かるのでしょうか。

⑨ その主の愛に応えてあなたができることは何でしょうか。



ワーク解説

【下級】

第1課 「逃げ出したヨナ」

- 質問1 単純な質問ですが、子どもたちと話をするきっかけのものです。

- 質問2 ヨナの乗った船が嵐にあったのは、ヨナが神様の言葉に従わなかったからであること、そして、それは罪であることに気づかせます。

- 質問3 自分は神様の言葉にしたがっているかどうか、具体的なことを聞いています。「いじめっ子にも神さまのことを伝える」という項目で、ヨナの気持ちを考えましょう。他にも十戒の項目を追加するなどして、自分の罪に気づかせましょう。

第2課 「悔い改めたヨナ」

- 質問1 迷路をたどると、「くいあらため」の6文字になります。ヨナが魚の腹の中で悔い改めの祈りをしていたことに気づかせましょう。

- 質問2 子どもたちにとっては聞き慣れないこの言葉の意味を考えます。

- 質問3 悔い改めとは具体的にどうすることかを話し合います。神さまは、悔い改めた人の心を雪よりも白くしてくださることを強調し、祈りを導きましよう。

第3課 「愛を知ったヨナ」

- 質問1 ヨナの気持ちを考えます。神様は、悔い改め

たニネベの人々を見て、滅ぼすことをやめたことを、お話の導入としてください。

- 質問2 神さまは忍耐強く、一人も滅びないように悔い改めるのを待つておられる愛の方であることに気づかせましょう。

- 質問3 罪を犯しても、自分の罪を認めて心からおわびする素直な人を、神は喜んで受け入れてくださることを学びます。恐れないうで、正直に祈るよう促しましょう。

【中級】

第1課 「逃げ出したヨナ」

- 罪とは何かを考えましょう。人の前だけでなく神の前に悪いことが罪であることを伝えます。

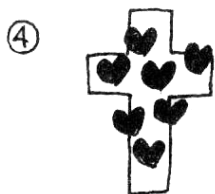
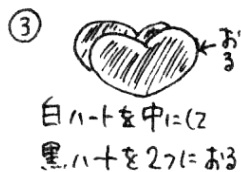
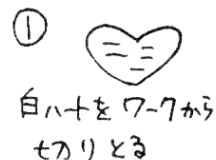
- 人が見ていなくても神様は見えておられること、行いだけでなく心の中も見えておられることを話して下さい。

第2課 「悔い改めたヨナ」

- 悔い改めることだけでなく、イエス様の十字架を信じてはじめて罪がゆるされることを話してください。

- 4番のハートの中にそれぞれの罪を書き、その罪を一つ一つ自分で告白しながら悔い改めの祈りができるように導いて下さい。2枚つながった黒いハートの紙に罪を書き込んだ白いハートを貼り付け、子供たち全員が罪の心を1本の十字架に負わせてキャン

ファイヤーの火で燃やしてみようでしょうか。



十字架にみんなの
黒ハート(罪の心)
を負わせる



第3課 「愛を知ったヨナ」

- ヨナは自分が神様から赦されていることだけで満足し、ニネベの人たちを愛する心が欠けていました。第2課で、全ての罪を赦していただいた子どもたちの心の中に、他の友だちへの愛の心があるかどうかを一緒に考えてください。

- どんな友だちのことも愛して祈れる心を神様は喜んで下さることを伝えましょう。

♪あいをください♪

(ホ・子どもさんびか78、イン・教会学校さんびか67他)

【上級】

第二課 「逃げ出したヨナ」

●質問1 導入のための質問。生徒がリラックスするともねらいです。導く先生自身の失敗談を話すのも生徒の心を開くのに効果的でしょう。

●質問2 聖書をいっしょに開き、み言葉そのものから発見することが大切です。

●質問3 激しい嵐で、人々がパニックに陥っているようすを確認するとともに、そのようになさったのが主ご自身であることをはっきりさせます。

●質問4 どちらかの＊に○をします。そして「」に「ヨナ」とか「自分」と書ければ良いでしょう。

●質問5 ヨナの態度に対して主が怒りを覚えられたことを実感することがねらいです。良く考えた生徒が多少ずれたことを言っても、それを大切にしてあげてください。例えば「ヨナだけが悪いのに、船に乗っている他の客まで巻き込むのはかわいそうだが、仕方がない」とか、「わたしの言うことが聞けない者は死んでしまえ」などの答えがあっても否定せず、それを生かしながら主の怒りに気付かせるように持っていくきましょう。

●質問6 ここで、この課の「神の言葉に従わないことは罪であることを発見する」という目標を達成できれば理想ですが、答を押し付けないように。次の質問で発見しても良いのです。

●質問7 暗唱聖句が生徒の個人的な悔い改めの祈りの言葉となれば理想です。でも無理をしないで第二課への期待を共有しつつ終わりましょう。

第二課 「悔い改めたヨナ」

●暗唱聖句 より理解を深めるために、暗唱聖句の前の句も（ ）内に入れていきます。先生方で判断してください、（ ）内も含めて暗唱しても、そこは省いてもよろしいかと思います。

●質問1 導入のための質問です。導く先生自身の失敗談などにも必要に応じて話しながら、「なかなか汚れがきれいにならない」というあたりを十分実感させた上で、★を読み、ここではあまり深く説明しないで、質問2に移ります。

●質問2 まず、ヒントなしで、自由に答えてもらいましょう。次に★のヒントを読み、「自分が悪いと分かっていたのだから『助けてください』だけではなく、きっと『ごめんなさい。私の罪をお赦してください』とも叫んだはずですね」という具合に持っていけばいかがでしょうか。生徒によっては、いつ出れるか分からない真つ暗な魚の腹の中で、自分の心の汚れと向き合ったという、その深刻さを想像させることも、より深い悔い改めへと導くのに効果的かもしれません。

●質問3 迷っていれば、2節を示しましょう。

●質問4 ヨナが悔い改めたので、主が答えてくださったことを確認するのが質問の意図です。

●質問5 キャンプの中心聖句が、ヨナの「救われた喜びと確信」の言葉であると確認します。

●質問6 時間をかけ、各生徒の状態に応じたカウンセリングをしましょう。主イエスの十字架の血こそが救いの根拠であることを明確に教えてください。

第三課 「愛を知ったヨナ」

●質問1 「彼らの悪が主の前に上ってきた」から。もちろん生徒自身の表現でも良いです。

●質問2 参考になる聖書箇所は3・5～9。

●質問3 参考になる聖書箇所は3・10です。

●質問4 み言葉の通りに「砕けた魂（口語訳）」となります。でも大切なのは、生徒が自分の心、魂の状態を見つめ直し、自分は主の前に高ぶっているのか、砕かれているのか、どのようなものであるのかを、じっくり考えさせる機会とすることです。スペースの関係で、簡単にしていますが、生徒の状態に応じて、ふくらませ、深めてください。

●質問5 み言葉をいっしょに確認しましょう。

●質問6 例―衰え果てた。死ぬほど怒った。当然のことのように怒った。つぶやいた。…など。

●質問7 答―「悔」（あるいは「く」と「い」。後半の答え―本物の「愛」で人々を「愛して…」。ここで、主の愛について問いかけて、生徒の中から、主の愛の大きさ・深さに対する新鮮な感動が引き出されたり、また主の愛をテーマに自由に語り合うことができれば理想的でしょう。

●質問8 主の十字架へのはつきりとした信仰に導く機会となることを意図しています。押し付けにならないように留意しつつも、たましいへの最後の切り込みのつもりで取り組みましょう。

●質問9 滅びゆく魂のために祈って、伝道したい、との思いに導くことが意図されています。ぜひ教師自身の熱い思いを証ししてください。